

大分へ70人 初避難訓練



訓練概要

- 緊急時通信連絡
- 緊急時モニタリング
- 災害広報
- 災害対策本部設置
- 新オフサイトセンター運営
- 緊急被ばく医療活動
- 自衛隊など災害派遣要請
- 主民避難誘導
- 交通規制
- 東発内緊急時対応(四国電力)
- 首路のがれき除去

The map illustrates the evacuation plan for Oita Prefecture. It shows the outline of Oita Prefecture and its major cities: Oita City, Beppu City, and Nagashima City. Key ports include Beppu Port, Oita Port, Nagashima Port, and Higashimatsuura Port. Evacuation routes are indicated by arrows originating from the northern part of the prefecture and pointing towards the southern coastal areas. A red circle with a radius of 30 km is centered on the northern coast, specifically around Iwafuji Power Station. The map also includes a north arrow and a scale bar indicating 50 km.

国・県原発重大事故想定

国と県は8月29日、四国電力伊方原発（伊方町）での重大事故を想定した原子力総合防災訓練を原発の周辺地域で実施した。内閣官房や国の原子力規制委員会、県や県内20市町など約105機関の約1万4570人が参加。県広域避難計画に基づき、日本一細長い佐田岬半島にある伊方原発の西側の住民約70人が船で大分県へ避難する初めての訓練に取り組んだ。（3～5・7面に関連記事）

(3) 5・7面に閣連記事

伊方原発 再稼働問題

8日の訓練では安倍晋三首相が原子力緊急事態宣言の項目の一つか二つ

海上自衛隊多用途支援艦
「げんかい」と民間の国連
九四フエリーで大分市の港
に到着し、市内の避難所に
バスで移動後、健康状態の
チェックなどを受けた。中
村時広知事も海自艦に乗船
し、避難所で大分県の広瀬
勝貞知事らと会談した。
大分県への避難訓練は、
中村知事が国に要望してい

原子力総合防災訓練の特徴

- ・国と県の合同実施
- ・「伊方地域の緊急時対応」に基づく実効性の検証
- ・大分県受け入れ施設までの佐田岬半島住民の避難
- ・新オフサイトセンターでの合同演習会場での運営

松山市の四電原子力本部では佐伯勇人社長をトップに対応。伊方原発では緊時対策所などで重大事故の手順を確認した。

事前にマッチングした原爆
30キロ圏外の松前町などの施
設に福祉車両で輸送する訓
練も初めて展開。一方、
キロ圏内は小中学校などで
内退避訓練を行ったほか、
伊方町に隣接する八幡浜市
民が一時移転先で放射性塵
質が付着していないかどう
かを調べるスクリーニング
や、甲状腺被ばくを抑える
ための安定ヨウ素剤の緊急
配布を受けた。

が要請した再稼働への同意を表明している。

An advertisement for Mishima Foods. It features a logo on the left consisting of three stylized human figures in a dynamic pose, with their arms raised and bodies overlapping. To the right of the logo is the text "はじまりは、大地の「紫」。" Below this is the large, bold text "三島食品". Underneath the company name is the website "www.mishima.co.jp". At the bottom, a smaller line of text reads "'ゆかり'は三島食品株式会社の登録商標です。". The entire advertisement is enclosed in a black rectangular border.

原子力災害対策本部を官邸に設置。伊方町から西予市に移転整備し、8月から運用を開始した愛媛県オフセンターには国の派遣要員約70人が東京からヘリコプターなどで参集し事故対応に当たった。

県内は雨天が続き、8日は内閣府の井上信治副大臣が松山空港から陸路で県オフセンターに移動したほか、9日は陸上自衛隊

のヘリコプターによる伊方町から東温市への住民避難が中止となつた。

伊方3号機は7月15日、再稼働の前提となる規制委の審査に「合格」。中村知事は10月26日、「訓練とほ

県内外 1 万 4570 人 参 加

2015年(平成27年)
11月 10日
火曜日

原子力総合防災訓練

きょうの紙面

3・5・7

読もう！ ③
 ゼロからの希望 ⑥
 お悔やみ ⑪
 健康ファイル ⑭
 きりとりレシピ ⑮
 小説 ⑯
 地域経済 ⑯
 四国つくる伝統 ⑯
 株式 ⑯⑯
 文化 ㉑
 科学が分かった ㉒
 四国駅伝戦力 ㉕

ご意見・お問い合わせは
 読者窓口 □ 089(935)2366
 事件・事故など情報は
 社会部 □ 089(935)2222

購読のお申し込み・
 配達のお問い合わせは
 □ 0120(99)4646

豆知識